

(様式3-2)

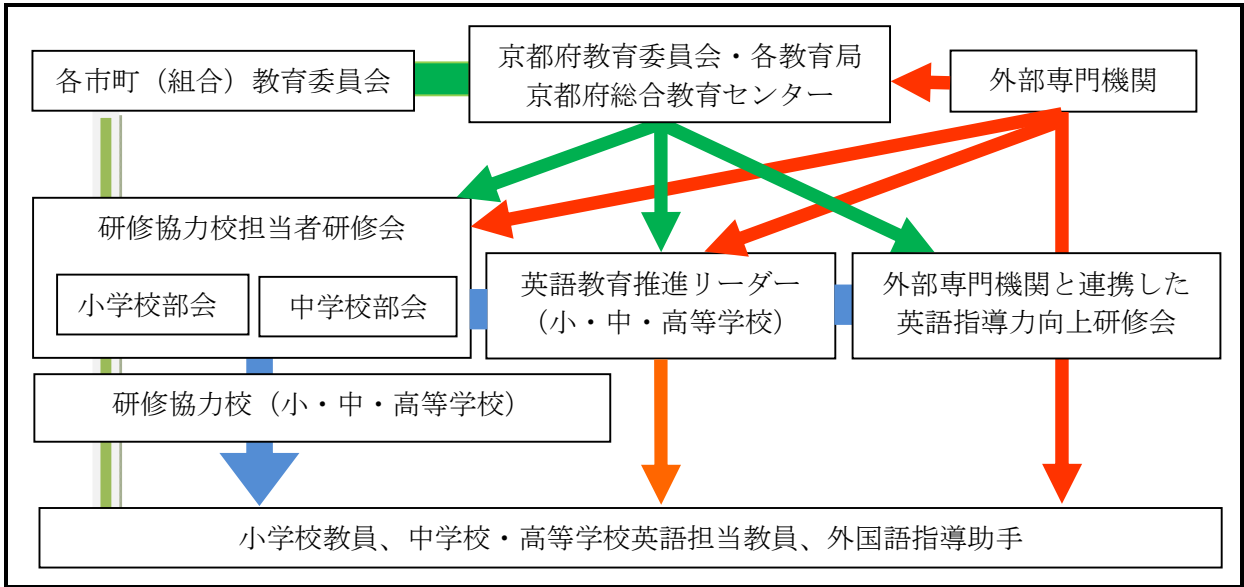
京都府英語教育改善プラン

※「小学校」には義務教育学校前期課程を、「中学校」には義務教育学校後期課程を含む

京都府教育委員会

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

①教員の英語力 求められる英語力を有する教員の割合

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高等学校	目標値	65%	70%	75%	80%	80%
	達成値	58.6%	62.7%	67.2%	63.8%	
中学校	目標値	35%	40%	45%	50%	55%
	達成値	27.6%	25.8%	32.3%	42.5%	

- ・高等学校英語担当教員を対象に英検準1級・1級、TOEIC の受験料を、中学校英語担当教員対象に英検準1級の受験料を、府費により全額助成をし、外部検定試験の受験を奨励する。尚、小学校教員で準1級を受験しようとする者についても対象としている。
- ・中学校・高等学校英語担当教員を対象に、ディベート指導法研修等を実施し、英語担当教員の指導力向上を図る。
- ・また、中学校・高等学校英語担当教員のみならず、英語指導助手も対象にし、ティーム・ティーチング研修を実施することで、英語を使用する必然場面を設定して指導力向上を図る。
- ・中学校英語担当教員を対象に、「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語指導力向上のための集中研修を実施する。（2020年度までに対象者全員悉皆）
- ・英語教育実施状況調査を通じて、目標達成状況を把握する。

②生徒の英語力 求められる英語力を有する生徒の割合

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高等学校	目標値	35%	40%	45%	50%	55%
	達成値	30.6%	29.2%	34.0%	32.8%	
中学校	目標値	35%	40%	45%	50%	55%
	達成値	40.9%	39.5%	35.0%	38.6%	

- ・高等学校においては、CAN-DO リスト研修会等に基づき、各校 CAN-DO リストを整備し、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について生徒が身に付ける能力を各校が明確化することによって、目標到達に向けた授業改善を進める。また、英語教育研究会、研修協力校での研究協議、教育センター研修、研修協力校の研究報告論集等をとおして、府内へ普及を図り、生徒の英語による言語活動向上につなげる。

- ・ 高校生の海外留学を支援するため、グローバルチャレンジ事業（数週間～1か月程度の短期留学）及び府立高校海外サテライト校事業（数ヶ月程度の中期留学）を実施し、毎年着実に海外留学体験者数を増加させ、生徒の英語力向上につなげる。また、各府立高校での外国人生徒等の受け入れも支援するため、グローバル文化カフェ事業を実施し、各府立高校にて外国語を使用する機会を確実に増やし、目標達成に向けた生徒の言語活動増加を目指す。
- ・ 府内に勤務する英語指導助手を増やすことで、生徒が言語活動に取り組める場面を増やすことで、生徒の英語力向上につなげる。
- ・ 中学校においては、京都府学力診断テストを中学2年生（悉皆）を対象に実施し、生徒の英語力を把握するとともにテスト結果を検証し、担当教員を対象に「京都府学力診断テスト活用講座」を開催して授業改善につなげる。また、外国語4技能テストを中学2年生（抽出）を対象に府費により実施し、「話すこと」の領域を含めたバランスの取れた英語力向上につなげる。
- ・ 研修協力校を対象とした割引制度の活用により外部検定試験の受験を促進し、該当校の生徒の英語力向上につなげる。
- ・ 英語教育実施状況調査を通して、目標達成状況を把握する。

③学習到達目標（CAN-DO形式）の整備 技能別学習到達目標（CAN-DO形式）の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
高等学校	設定	目標値	30%	90%	100%	100%	100%
		達成値	16.5%	15.1%	31.1%	40.0%	
	公表	目標値	10%	20%	30%	50%	50%
		達成値	6.8%	9.3%	14.9%	17.3%	
	把握	目標値	30%	50%	70%	80%	80%
		達成値	9.4%	10.5%	14.9%	13.3%	
中学校	設定	目標値	30%	40%	60%	100%	100%
		達成値	22.7%	42.3%	54.6%	69.8%	
	公表	目標値	20%	40%	60%	80%	80%
		達成値	8.3%	8.2%	13.2%	9.4%	
	把握	目標値	35%	40%	60%	80%	80%
		達成値	14.4%	12.4%	35.8%	27.1%	

- ・ 高等学校については、平成28年度から研修協力校を一校追加しており、CAN-DOリスト作成のモデル校として位置づけ、他校教員がCAN-DOリスト作成のノウハウを共有できるようにしてきた。平成30年度は別の研修協力校を設置し、府内各校にCAN-DOリスト形式での到達目標の設定をさらに奨励するとともに、CAN-DOリストの視点を踏まえた指導と評価の改善についてより一層周知を図る。さらに、京都市教育委員会と連携し、研修協力校の公開授業等に参加する機会を設け、英語教員の授業力の向上を図り、もって本府英語教育の一層の充実を図る。
- ・ 高等学校の各研修協力校において、パフォーマンス課題の設定、評価指標の作成及び達成状況の把握方法を含め、CAN-DOリストの活用に関する研修を実施し、生徒の言語活動を中心とした授業についての具体的なアイデアやノウハウを提供し、府内各校における授業改善の更なる推進を図る。加えて、京都で実施する高大連携教育フォーラムや英語教育研究会等の機会にも、学習到達目標に対する府の取組等を発信し、担当教員が学習指導要領「外国語」の趣旨について理解を深めるよう引き続き指導を徹底していく。
- ・ 中学校においては、研修協力校を中心に学習到達目標（CAN-DO形式）設定の趣旨と、CAN-DOの視点を踏まえた指導と評価の改善、公表・把握を含めた効果的な活用について、外部講師等より研修を受ける機会を持ち、より一層周知を図る。
- ・ 各教育局の指導主事による計画訪問等の機会を有効に活用し、各校での学習到達目標（CAN-DO形式）設定・公表・把握の達成値の向上を目指す。
- ・ 各教育局・市町（組合）教育委員会とも連携し、CAN-DOの運用（公表・把握）の割合を高める。
- ・ 英語教育実施状況調査を通じて、目標達成状況を把握する。

④生徒の英語による言語活動 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合
半分以上の時間、英語による言語活動を行っている教員の割合

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高等学校	目標値	35%	40%	45%	50%	55%
	達成値	24.7%	21.9%	25.3%	25.5%	
中学校	目標値	35%	40%	70%	100%	100%
	達成値	40.9%	50.3%	59.7%	62.3%	

- ・高等学校において、平成 30 年度は、各校に CAN-DO リスト形式での到達目標の設定を奨励し、CAN-DO リストを公表することで達成状況を適切に把握するよう整備を進める。また、CAN-DO リストにより設定した学習到達目標を用いて、パフォーマンス課題の評価規準の整備等を行うことで、生徒の英語を使ったコミュニケーション活動を重視した授業改善を進める。
- ・高等学校において、研修協力校を中心に授業改善の方策を研究し、外部アドバイザー等と連携してモデル授業を各校に発信する。同時に授業後に研究協議を持ち、研修協力校のノウハウを他校にも波及させ、各校でのコミュニケーション活動重視の、主体的・対話的で深い学びのある授業改善へとつなげる。さらに、年度末には研究成果の共有を図る。
- ・英語教育推進リーダーの域内研修を通じて、生徒の英語による言語活動を増加させるノウハウを充実させ、教員の指導力の向上を図る。高等学校においては、平成 30 年度も、南北両地域で全 14 時間分の域内研修を実施することで、域内全域での授業改善を目指す。
- ・英語教育実施状況調査を通じて、目標達成状況を把握する。

⑤パフォーマンステストの実施 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
高等学校	スピーキングテスト	目標値（回）	2	3	3	
		達成値（回）	コミュニケーション英語Ⅰ	1.28	2.20	
	コミュニケーション英語Ⅱ		1.04	1.38		
	コミュニケーション英語Ⅲ		0.35	0.35		
	英語表現Ⅰ		0.84	1.03		
	英語表現Ⅱ		0.39	0.88		
	ライティングテスト	目標値（回）	2	3	3	
		達成値（回）	コミュニケーション英語Ⅰ	0.39	0.19	
			コミュニケーション英語Ⅱ	0.31	1.00	
			コミュニケーション英語Ⅲ	0.08	0.20	
英語表現Ⅰ			0.58	0.53		
英語表現Ⅱ	0.86		1.49			
中学校	スピーキングテスト	目標値（回）	4	5	6	
		達成値（回）	2.8	3.4		
	ライティングテスト	目標値（回）	4	5	6	
		達成値（回）	1.4	1.7		

- ・研修会等を通じて一層 CAN-DO リストの活用を奨励し、学習到達目標を明確にすることで、各校で効果的なパフォーマンス課題の実施を促進する。
- ・研修協力校においてパフォーマンス課題を意識した公開授業を取り入れ、外部アドバイザー等の意見も参考にしながら、よりよいパフォーマンステストのあり方を研究する。
- ・京都府高等学校教育課程研究協議会において、次期学習指導要領の周知等を行い、パフォーマンス課題の設定及びその評価について研究協議をする。
- ・中学 2 年生を対象とする府の学力診断テストにおける「書くこと」の課題を分析し、「京都府学力診断テスト活用講座」において、指導と評価の改善について周知する。
- ・英語教育実施状況調査を通じて、目標達成状況を把握する。

⑥教員の英語使用 授業における、英語担当教員の英語使用状況
発話の半分以上を英語で行っている教員の割合

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高等学校	目標値		50%	75%	100%	100%
	達成値	21.9%	18.6%	16.5%	16.8%	
中学校	目標値		50%	70%	100%	100%
	達成値	27.6%	30.5%	44.8%	49.1%	

- ・英語教育推進リーダーの域内研修や、研修協力校での英語を使ったモデル授業等を通じて、高等学校では「英語による授業」の、中学校では「英語で行うことを基本とする授業」の進め方について研修を深める。
- ・求められる英語力を有する担当教員の割合を高め、授業における英語使用を可能にする。
- ・高等学校においては、特に英語の使用率が低いコミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅱ等の科目について、教科要請訪問などを通じて指導の徹底を図る。
- ・京都府英語指導助手研修会・外国語指導助手指導力等向上研修を通じてALTの効果的な活用をふまえたティームティーチングの在り方について研修する。
- ・英語教育実施状況調査を通じて、目標達成状況を把握する。

⑦小学校教員の英語力 相応の英語力を有する小学校教員の割合

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
教員総数	3707	3569	3693	3605	
英語免許状所有者数(割合)	184(5.0)	201(5.6)	202(5.5)	218(6.0)	
外部試験受験者数(割合)	975(26.3)	1070(30.0)	1047(28.4)	1039(28.9)	
英検準1級程度以上取得済	30(0.8)	27(0.8)	26(0.7)	31(0.9)	
半年以上海外留学経験等有	52(1.4)	58(1.6)	47(1.3)	57(1.6)	

人(%)

- ・小学校教員を対象に英検準1級の受験料を府費により全額助成する事業を継続し、外部検定試験の受験を奨励する。
- ・教員採用選考試験において、有資格者に対しての優遇措置制度を設ける。

⑧研修の充実 研修実施回数及び研修受講者数

			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高等学校	実施回数(回)	目標値	11	11	11	11
		達成値	18	20	15	
	受講者数(名)	目標値	425	400	400	400
		達成値	435	480	401	
中学校	実施回数(回)	目標値	8	10	10	10
		達成値	13	22	17	
	受講者数(名)	目標値	400	400	400	450
		達成値	500	400	500	
小学校	実施回数(回)	目標値	3	10	10	10
		達成値	8	12	17	
	受講者数(名)	目標値	500	400	400	400
		達成値	400	400	400	

【高等学校英語担当教員 約400名】

- | | | |
|------------------------|-------|-----|
| ・研修協力校による授業公開研修(2回×2校) | 受講予定者 | 40名 |
| ・研修協力校によるCAN-DOリスト活用研修 | 受講予定者 | 20名 |
| ・英語教育推進リーダー研修実習(南北両地域) | 受講予定者 | 50名 |
| ・京都府高等学校教育課程研究協議会 | 受講予定者 | 60名 |
| ・京都府高等学校英語教育研究会 | 受講予定者 | 60名 |

・英語指導助手研修会・外国語指導助手の指導力等向上研修会	受講予定者 80名
・英語科教育講座（大学連携）	受講予定者 90名
【中学校英語担当教員数 約300名】	
・英語教育推進リーダー研修実習（英語教育推進教員養成研修）	受講予定者 100名
・研修協力校担当者研修会	受講予定者 5名
・英語指導助手研修会・外国語指導助手指導力等向上研修会	受講予定者 50名
・英語力向上研修会	受講予定者 50名
・英語指導力向上研修会	受講予定者 100名
・教育課程研修会	受講予定者 30名
・総合教育センター研修講座	受講予定者 120名
【小学校教員数 約3000名】	
・英語教育推進リーダー研修実習（英語教育推進教員養成研修）	受講予定者 50名
・研修協力校担当者研修会	受講予定者 10名
・大学等における長期派遣研修	受講予定者 3名
・教育課程研修会	受講予定者 130名
・総合教育センター研修講座	受講予定者 210名

（3）研修の体系と内容の具体

○研修の体系と内容の具体

【高等学校】

1（研修名）研修協力校による授業公開研修

（対象） 高等学校英語担当教員 約40名

平成30年度から新たな研修協力校体制として2校指定しており、英語指導のモデル校的役割として位置づけ、公開授業等を通してその研究成果を他校教員に向けて発信する。また、研修協力校における指導改善の進捗状況を随時把握するために、研修協力校には外部アドバイザーを配置し、適宜指導・助言を行う。外部アドバイザーには特に英語による授業の進め方、効果的なパフォーマンステスト及びその評価、CAN-DOリストの効果的な活用、といった事項を中心に指導・助言をいただき、授業改善を進めていく。

各研修協力校は年間2回公開授業及び研究協議を行うこととし、他校教員が公開授業等に参加することで成果を共有し、参加者所属校に波及させることとする。また、年度末には研究冊子を作成し、各研修協力校のこれまでの取組をまとめ、成果と課題を明らかにするとともに、各校にその実践を普及させるべく、研究成果の共有を一層推進する。

2（研修名）研修協力校によるCAN-DOリスト活用研修

（対象） 高等学校英語担当教員 約20名

研修協力校においてCAN-DOリスト活用研修を行う際に研修を公開することによって、域内の英語担当教員がCAN-DOリストの活用等について学習する機会を設ける。CAN-DOリスト形式での到達目標の設定及び提出を求めるとともに、すでに作成済みの学校については、CAN-DOリストの見直し等も含めて促進していく。

3（研修名）英語教育推進リーダー研修実習

（対象） 域内で中核となる高等学校英語担当教員

（南北両地域）約50名 最終的には域内全英語担当教員約400名

中央研修参加者を講師として、域内で中核となる英語担当教員を対象に講習会等を行う。先進的な英語教育及び英語による授業に関するノウハウの共有及び教員の英語力向上を目的とする。また研修実習を受講した教員については、年度内に校内での伝達講習を義務づける。平成30年度は平成29年度に中央研修を修了したリーダーによって、南北両地域の英語科教員に計14時間の域内研修を行う予定である。

- 4 (研修名) 京都府高等学校教育課程研究協議会
 (対象) 高等学校英語担当教員 約 50 名
 域内英語担当教員(一部私立学校の教員も含む)を対象に、学習指導要領に則した授業、評価の在り方を研究する機会とする。各校の指導状況の情報を交換し、共有することで、指導方法の改善に向けた取組を進めていく。
- 5 (研修名) 京都府高等学校英語教育研究会
 (対象) 高等学校英語担当教員 約 80 名
 外部講師を招聘し、府立高校英語担当教員を対象に「授業力」を高めるための講義や演習等を行う。また、各校の指導状況の情報を交換し、共有することで、指導方法の改善に向けた取組を進めていく。
- 6 (研修名) 英語科教育講座(大学連携)
 (対象) 英語担当教員 約 90 名
 大学等と連携して、府立高校英語担当教員対象に「授業力」を高めるための講義及び演習等を行う。また、主体的・対話的で深い学びのある英語授業を進める講義及び演習等を行う。

【中学校】

- 1 (研修名) 英語教育推進リーダー研修実習(英語教育推進教員養成研修)
 (対象) 中学校英語担当教員 約 100 名
 中央研修参加者 4 名を講師として、府内の中学校英語担当教員を対象にカスケード研修を実施する。中央研修参加者 1 名あたり約 25 名の教員を対象に、3 日間で計 14 時間の研修を年度内に実施する。
- 2 (研修名) 研修協力校研修会
 (対象) 研修協力校担当者 5 名
 研修協力校において、CAN-DO の視点を踏まえた指導と評価の改善を進めるため、研修協力校担当者を対象に研修会を実施する。
- 3 (研修名) 英語力強化研修
 (対象) 中学校英語担当教員 50 名
 英語力が英検準 1 級程度に満たない中学校英語担当教員を対象に、フォローアップ研修と TOEIC 受験を実施する。
- 4 (研修名) 英語指導力強化研修
 (対象) 中学校英語担当教員 100 名
 「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語指導力向上のための集中研修を実施する。
- 5 (研修名) 教育課程研修会
 (対象) 中学校英語担当教員 約 30 名
 英語教育改革の動向を周知し、新学習指導要領の趣旨に沿った指導や評価が実現できるよう、併せて次年度からの移行措置に向けての講義と研究協議等を行う。
- 6 (研修名) 総合教育センター研修講座
 (対象) 中学校英語担当教員 約 150 名
 今求められる英語力を育成するために必要な授業力を高めるため、講義、演習等を通して、教科書の効果的な使い方、「中学校『読む力を伸ばす英文教材集』」の活用方法、計画的・系統的な「自己表現作文」の指導、入門期指導の充実、音声指導の充実、音読指導からアウトプット活動への充実等の内容を学び、英語指導力の向上を図る。

【小学校】

- 1 (研修名) 英語教育推進リーダー研修実習 (英語教育推進教員養成研修)
(対象) 小学校教員 約 50 名
中央研修参加者 2 名を講師として、域内で中核となる小学校教員を対象にカスケード研修を実施する。中央研修参加者 1 名あたり約 25 名の教員を対象に、3 日間で計 14 時間の研修を年度内に実施する。受講者の研修成果の域内への波及を図り、中核教員を養成する。
- 2 (研修名) 研修協力校担当者研修会
(対象) 研修協力校担当者、英語教育推進リーダー、大学長期派遣教員等 約 10 名
外部専門機関と連携して、研修協力校担当者等の指導力の向上を図り、小学校における英語教育推進の核となる人材を育成する。
- 3 (研修名) 教育課程研修会
(対象) 小学校教員 約 130 名
新学習指導要領の趣旨に沿った円滑な移行期間を推進するとともに、新しい外国語教育の在り方について理解し、指導や評価の改善を図れるよう、講義と研究協議を行う。
- 4 (研修名) 総合教育センター研修講座
(対象) 小学校教員 約 210 名
新学習指導要領全面実施に向け、英語教育改革の動向について理解するとともに、外国語教育における新教材等の有効的な活用方法について研修を行う。また、小中接続の在り方について研修を深める。

【小・中・高等学校共通】

- 1 (研修名) 京都府英語指導助手研修会・外国語指導助手の指導力等向上研修
(対象) 外国語指導助手 約 100 名、
高等学校英語担当教員 約 50 名、中学校英語担当教員 約 50 名、
JTE、ALT 協働で効果的な授業改善について検討するとともに今後の指導改善につなげる。チーム・ティーチングの授業において、生徒のコミュニケーション活動を重視した授業が行えるようにする。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4 月	【小学校】 京都府現職教育職員長期研修派遣研修会	
5 月	【高等学校】 第 1 回研修協力校公開授業・研究協議 (～ 6 月) 【中学校】 研修協力校担当者研修会① 【小学校】 研修協力校担当者研修会①	外部アドバイザー 大学教授 大学教授
6 月	【高等学校】 研修協力校 CAN-DO リスト活用研修 【中学校】 英語教育人材育成強化事業フォローアップ研修 (TOEIC 受験事前ガイダンス: 南部/北部 2 会場) 【中学校】 英語教育人材育成強化事業研修 (TOEIC IP I 受験: 南部/北部 2 会場) 【小学校】 平成 26～29 年度京都府小学校英語教育推進教員 (中核教員) フォローアップ研修会 【小学校】 研修協力校担当者研修会①	外部アドバイザー (株) ECC (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会 府総合教育センター研修 (大阪教育大学) 府総合教育センター研修 (大阪教育大学)
7 月	【高等学校】 京都府高等学校英語教育研究会第 1 回研修会 【中学校】 京都府新教育課程説明会	外部講師

	【小学校】研修協力校担当者研修会② 【小学校】京都府新教育課程説明会	大学教授
8月	【高等学校】英語教育推進リーダー研修実習 (南北両地域対象) 【高等学校】京都府高等学校教育課程研究協議会 【ALT】京都府英語指導助手研修会 【中学校】京都府新教育課程説明会 【中学校】研修協力校担当者研修会② 【中学校】平成26～29年度京都府中学校英語教育推進教員 (中核教員) フォローアップ研修会① 【中学校】英語指導力向上事業集中セミナー①② 【小学校】研修協力校担当者研修会③	(ブリティッシュ・カウンシル) 外部講師 外部講師 府総合教育センター研修 (朝日大学) 府総合教育センター研修 (朝日大学) 外部機関 大学教授
9月		
10月	【高等学校】第2回研修協力校公開授業・研修協議(～11月) 【中学校】研修協力校担当者研修会③ 【中学校】平成26～29年度京都府中学校英語教育推進教員 (中核教員) フォローアップ研修会②	外部アドバイザー 府総合教育センター研修 (関西大学/近畿大学) 府総合教育センター研修 (関西大学/近畿大学)
11月	【ALT】外国語指導助手指導力等向上研修 【中学校】英語指導力向上事業集中セミナー③ 【小学校】研修協力校担当者研修会④	外部講師 外部機関 大学教授
12月	【中学校】英語教育推進リーダー研修実習① 【小学校】研修協力担当者研修会⑤	(ブリティッシュ・カウンシル) 大学教授
1月	【高等学校】京都府高等学校英語教育研究会第2回研修会 【中学校】英語教育推進リーダー研修実習② 【小学校】英語教育推進リーダー研修実習①	外部講師 (ブリティッシュ・カウンシル) (ブリティッシュ・カウンシル)
2月	【中学校】英語教育推進リーダー研修実習③ 【小学校】英語教育推進リーダー研修実習②	(ブリティッシュ・カウンシル) (ブリティッシュ・カウンシル)
3月	【小学校】英語教育推進リーダー研修実習③	(ブリティッシュ・カウンシル)
<p>その他の取組</p> <p>【高等学校】英検1級・準1級、TOEIC等助成事業 【小・中学校】英検準1級助成事業(第1回～第3回)</p> <p>総合教育センター講座</p> <p>【中・高等学校共通】中学校・高等学校外国語教育講座ー自己表現活動を授業にー 中学校・高等学校外国語教育講座ー即興型ディベートを授業にー</p> <p>【小・中学校共通】小中をつなぐ外国語授業づくり講座 ーコミュニケーション能力の向上を図るー 小中をつなぐ外国語授業づくり講座 ー単元を見通した授業デザインを考えるー</p> <p>【小学校】小学校外国語教育講座ー移行期における外国語活動を構想するー 新教材“Let’s Try!” “We Can!”の活用法を考える小学校外国語教育特別講座</p>		

